

スーパーマーケット景気動向調査

2014年8月調査結果(7月実績)

(8月21日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3か月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3か月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

景気判断は小幅に悪化、改善にやや頭打ち傾向

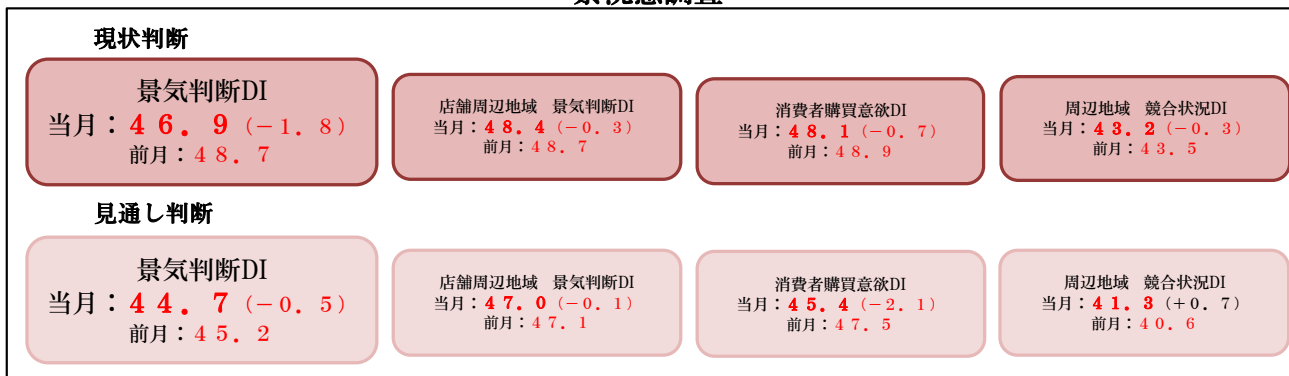
7月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は46.9と前月から-1.8と小幅に悪化する結果となった。いずれのDIも前月から大きな変化はないものの、すべてのDIで見通し判断が現状判断を下回る結果となっている。

経営動向調査も前月から大きな変化をみせていない。売上高DIが-0.7（前月比+0.6）とわずかに改善したものの、収益DIは2.8（前月比-0.4）とわずかに下降している。他のDIも小幅ない動きにとどまっているが、やや心配なのが来客数DIの動向であり、-12.8（前月比-1.4）と税率引き上げ以降の下落傾向が顕著になっている。

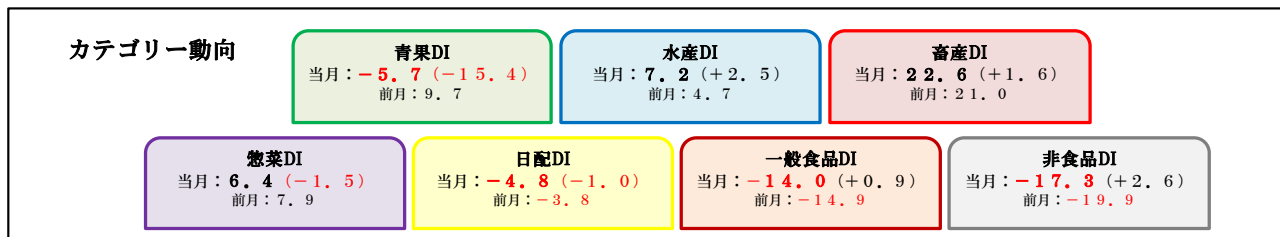
カテゴリー動向では、税率引き上げ以降生鮮三品（青果、水産、畜産）がプラス、一般食品や非食品でマイナスが続いている。なかでも相場高の追い風を受けている畜産はDIが22.6（前月比+1.6）と依然として大きくプラスを示しており引き続き好調である。一方で青果相場が安定し、前年と比べた相場安となったことの影響を受け、青果DIが-5.7（前月比-15.4）と大きく下落してマイナスとなった。一般食品や非食品は回復が弱く、他業態との競合も加わり大きな改善には至っていない。

駆け込み特需前の水準近くまで回復しつつあった景気判断DIが2ヵ月連続で横ばい推移となり、また見通し判断が弱含みになっているのは懸念材料といえる。

景況感調査



経営動向調査



() 内は前月DIとの増減（赤字はDI減少）

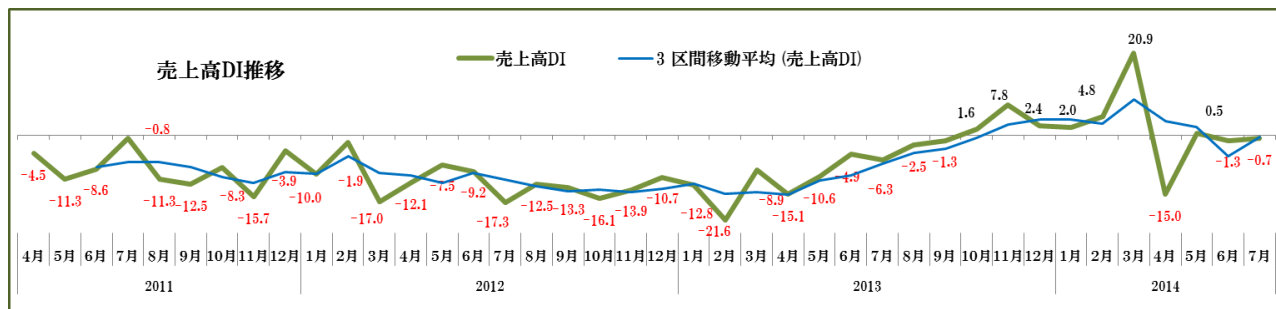
I. 調査結果詳細 1. 経営動向調査

①売上高 DI

消費税の影響は落ち着きをみせるも横ばいでの推移

売上高（前月）	7.7	28.9	26.4	34.9	2.1
売上高（当月）	7.6	30.0	23.3	35.7	3.3

■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

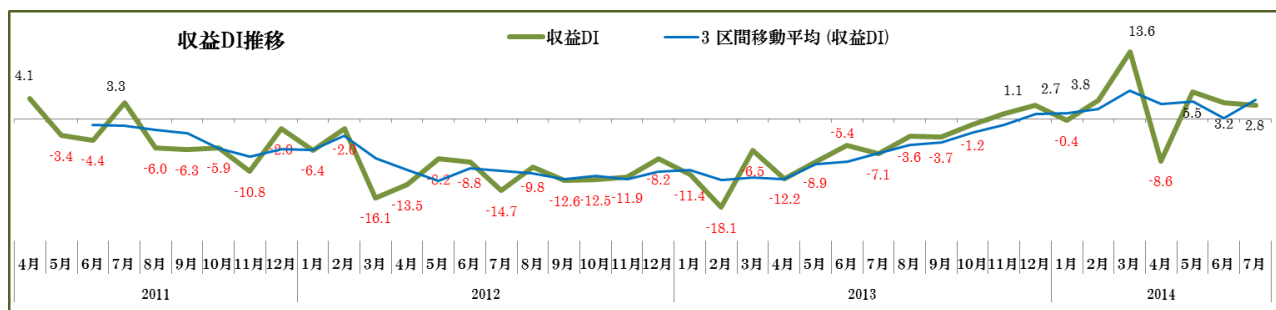


②収益 DI

プラス圏を維持するも小幅に下降傾向

収益（前月）	6.5	23.5	26.5	37.8	5.7
収益（当月）	6.7	23.1	29.3	34.1	6.7

■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加

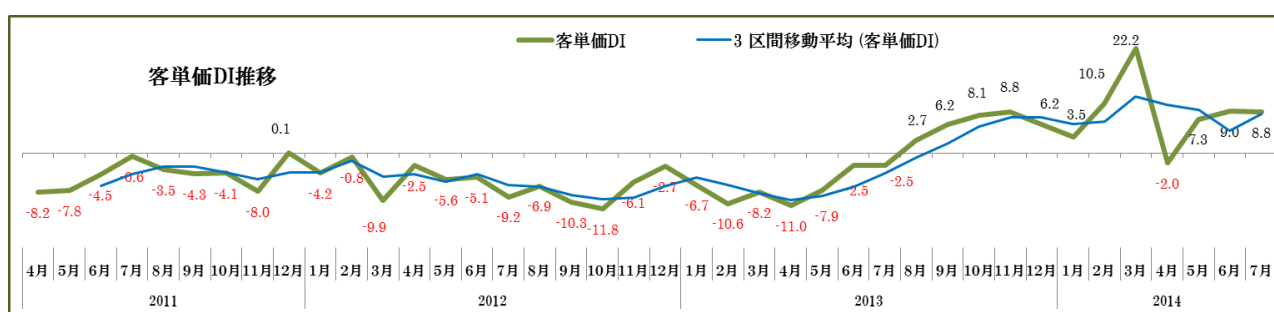


③客単価 DI

プラス圏で横ばい傾向

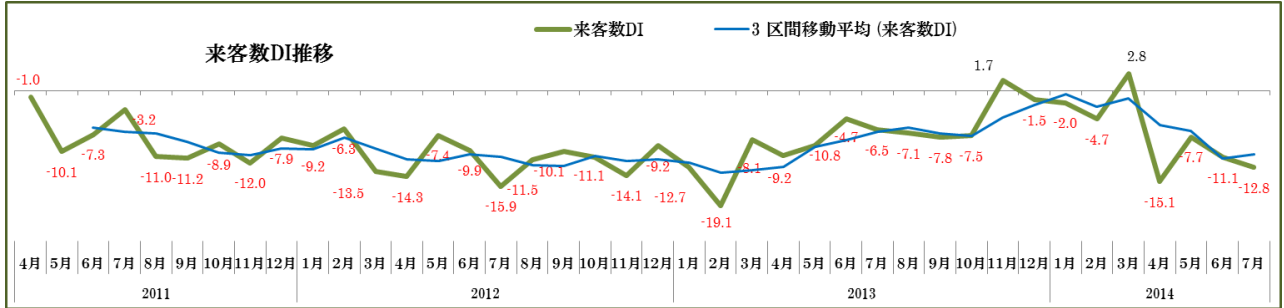
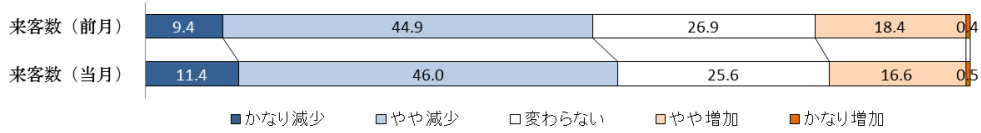
客単価（前月）	1.3	16.7	30.3	48.3	3.4
客単価（当月）	0.9	17.1	29.9	50.2	1.9

■かなり減少 □やや減少 □変わらない □やや増加 ■かなり増加



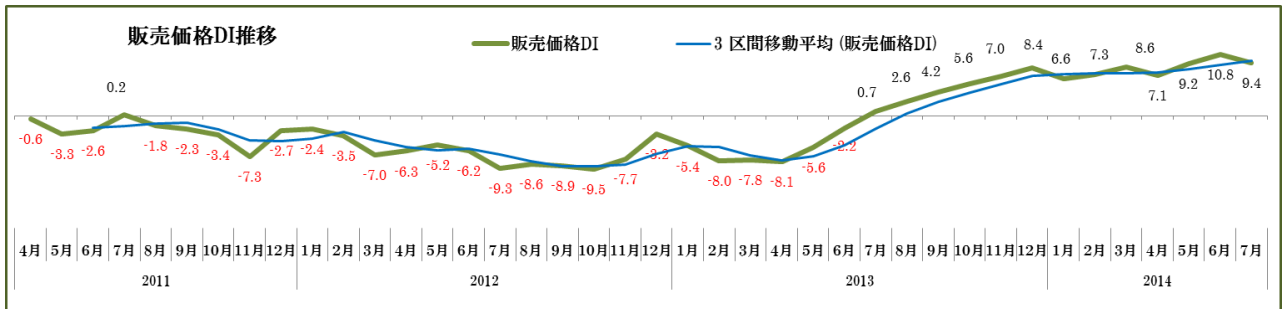
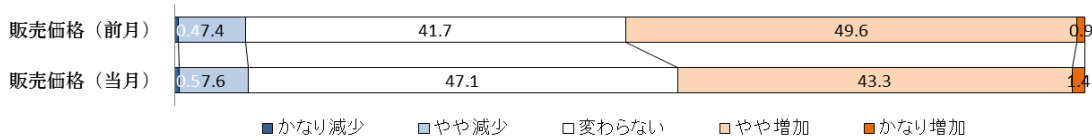
④来客数 DI

4月以降の下降傾向が顕著に



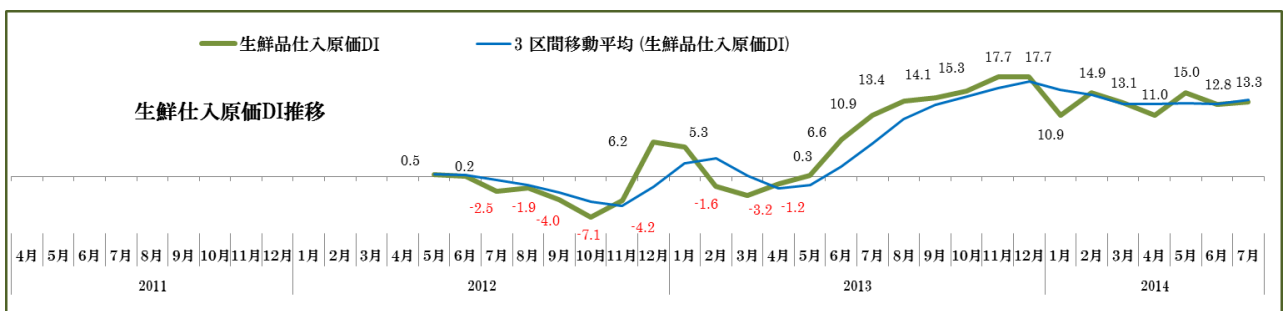
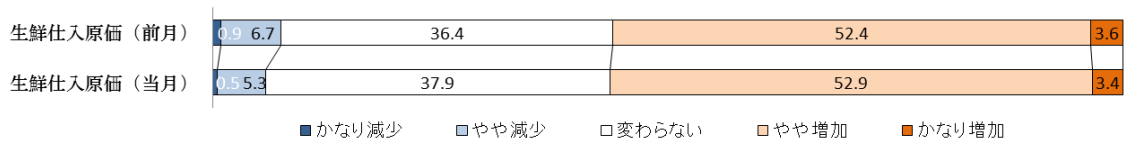
⑤販売価格 DI

引き続き高水準で横ばい傾向



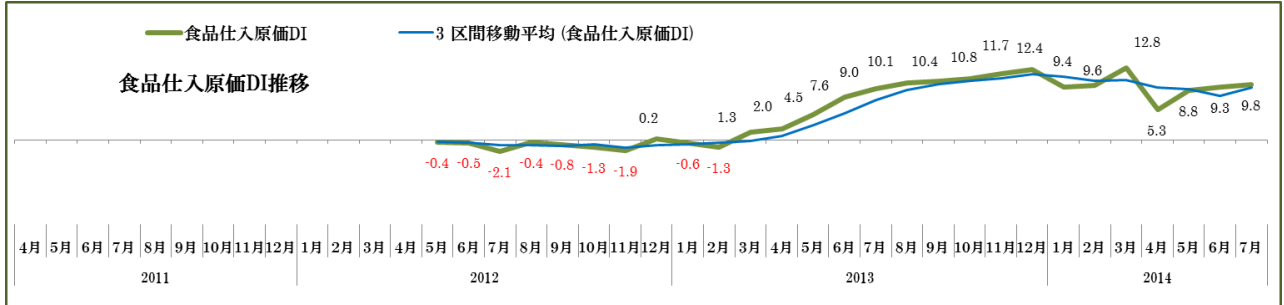
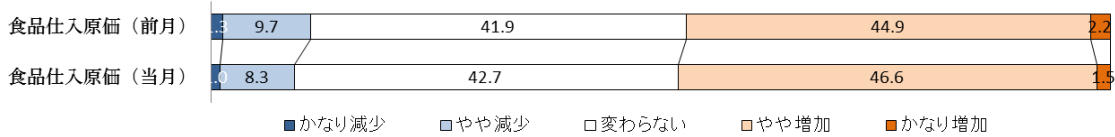
⑥生鮮仕入原価 DI

引き続き高水準で横ばい傾向



⑦食品仕入原価 DI

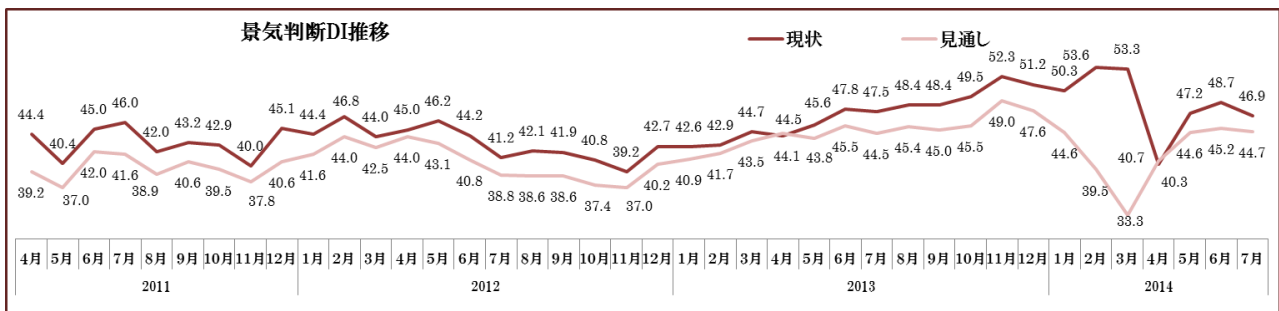
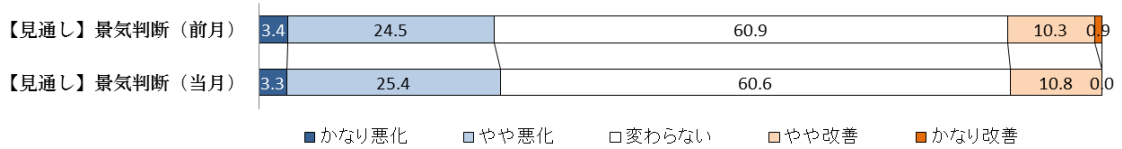
引き続き高水準で横ばい推移



2. 景況感調査

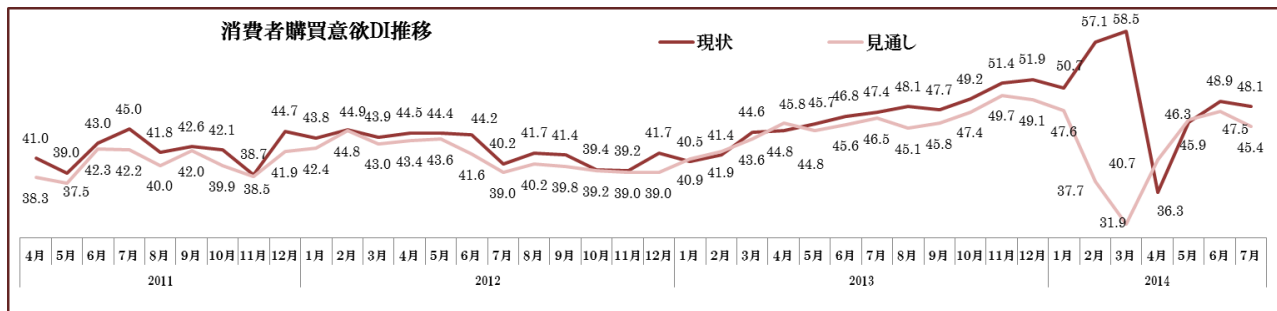
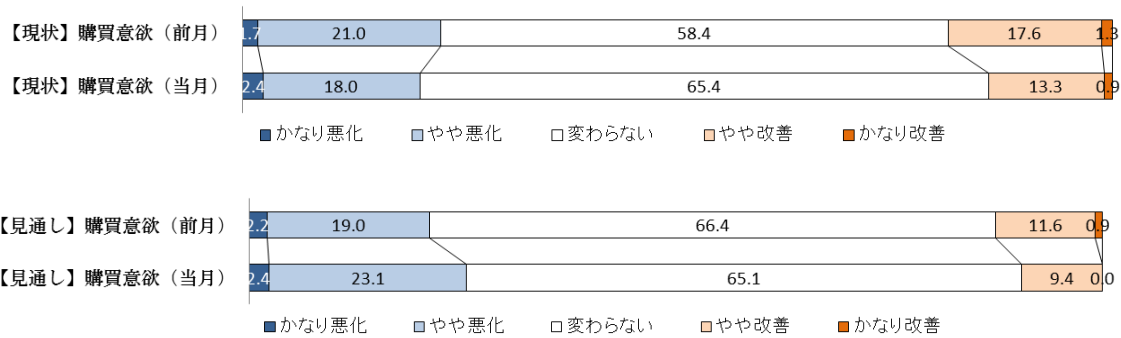
①景気判断 DI

現状判断の改善傾向には頭打ち感、見通し判断は横ばい推移



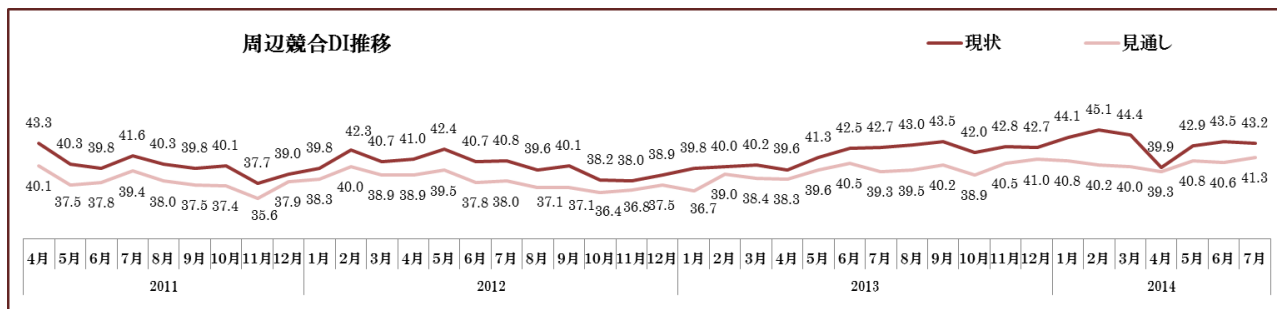
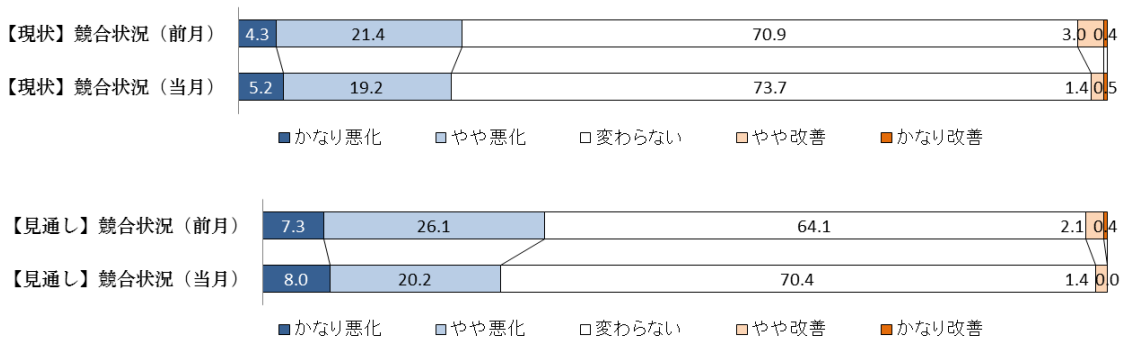
②消費者購買意欲 DI

現状判断の改善傾向には頭打ち感、見通し判断は横ばい推移



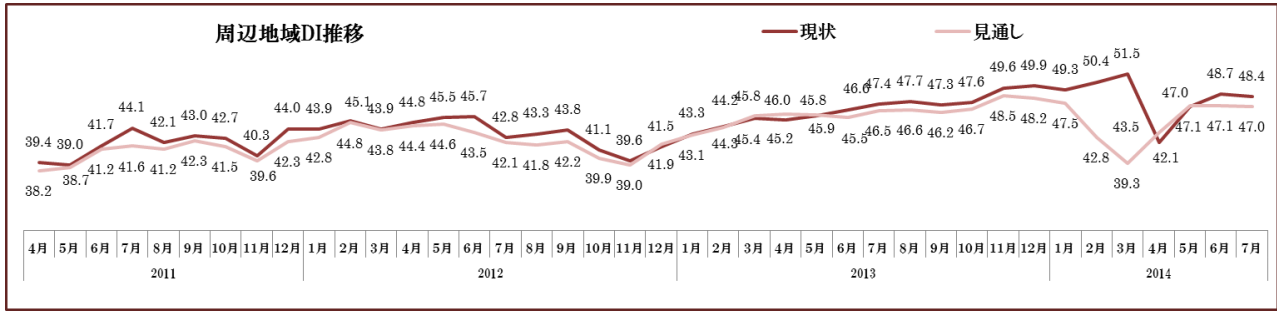
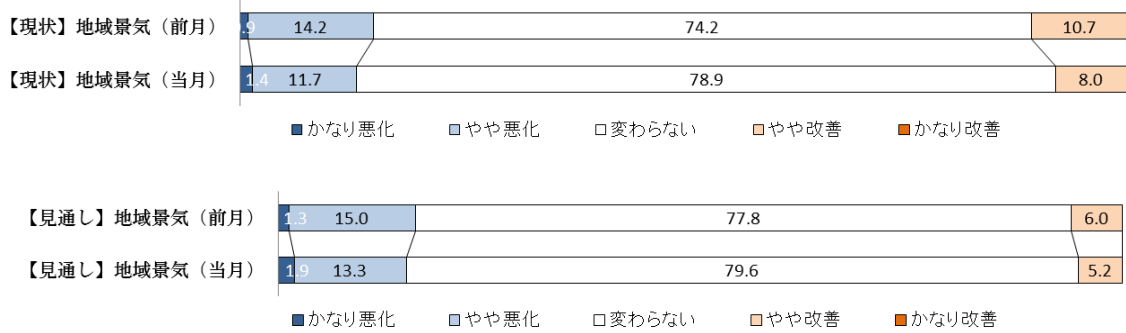
③周辺競合状況 DI

引き続き横ばい傾向が続き、改善の動きは見られず



④周辺地域景気判断 DI

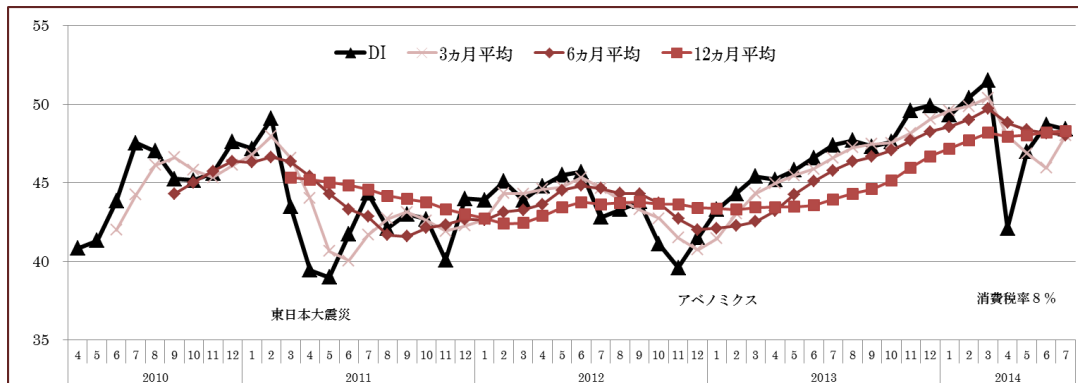
現状、見通し判断は共に横ばい傾向



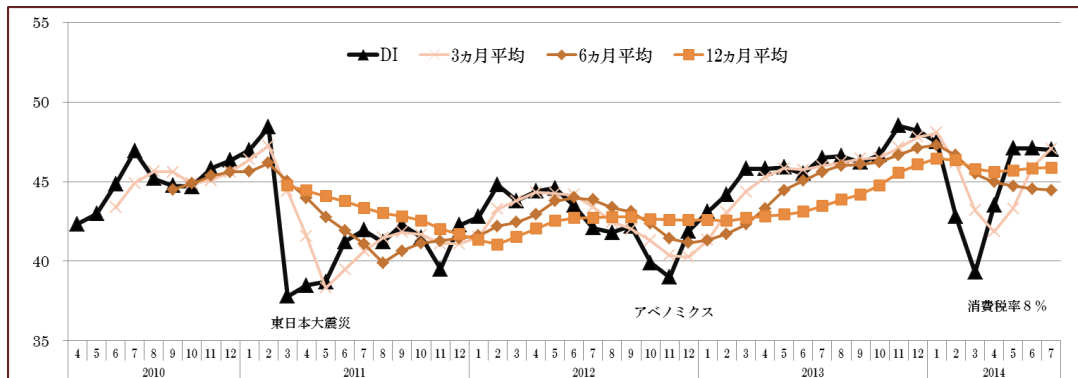
長期傾向（周辺地域景気判断 DI）

消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した現状判断は、中長期移動線付近まで改善をみせていたが、上昇に勢いがなくなり、やや頭打ち傾向がみられるようになってきている。同様に見通し判断も、中長期平均線を上回る水準を維持しているものの、横ばい傾向が続いている。今後、消費税前の水準に回帰していく動きをみせるかどうか見極めるために重要な局面となっている。

現状判断（中長期傾向）



見通し判断（中長期傾向）



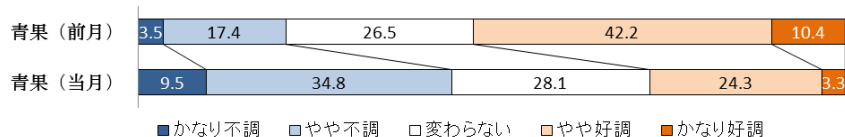
III. カテゴリー別動向

カテゴリー動向概要

税率引き上げ後のカテゴリー動向は、生鮮品と惣菜が好調、一方で一般食品と非食品を中心としたカテゴリーは不調という傾向が続いていたが今月は一部に変化がみられた。

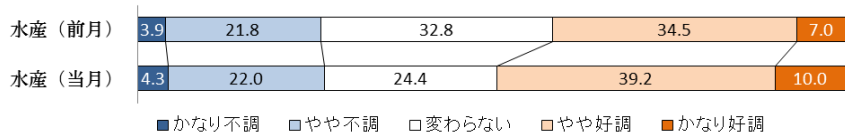
好調な生鮮品のなかでも畜産は相場高にも支えられ引き続きかなり好調であった。水産は土用丑の日のうなぎが比較的好調でありやや好調となっている。それに対して青果は相場の落ち着きによりやや不調となった。惣菜は各社で取組みを強化しておりその成果によりやや好調であった。日配は気温や天候要因も影響しやや不調である。一般食品は駆け込みからの回復もみられるが、価格競争も厳しく引き続き不調、非食品はたばこを中心として駆け込みの反動が残り、また他業態との競合も厳しく不調となっている。

【青果】 やや不調 DI: -5.7 (前月 9.7)



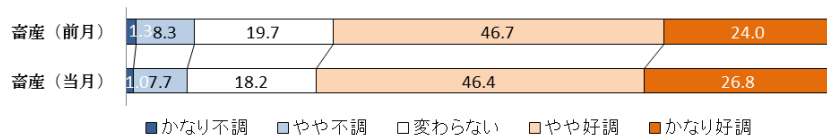
	好調コメント	不調コメント
青果	野菜相場安(安定)、季節果物(すいか、メロン)	野菜相場安、果物

【水産】 やや好調 DI: 7.2 (前月 4.7)



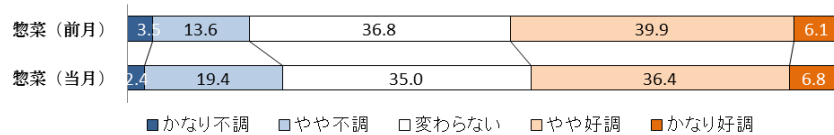
	好調コメント	不調コメント
水産	うなぎ(相場高)、(まぐろ)、(刺身)	中国産うなぎ、(塩干)

【畜産】 かなり好調 DI: 22.6 (前月 21.0)



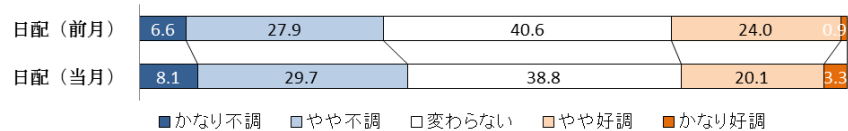
	好調コメント	不調コメント
畜産	豚肉相場高、国産牛肉(輸入)、国産鶏肉	

【惣菜】 やや好調 DI:6.4 (前月7.9)



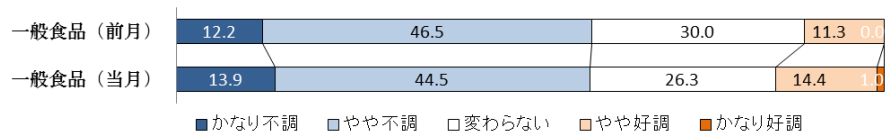
	好調コメント	不調コメント
惣菜	揚げ物類、	客数減少の影響

【日配】 やや不調 DI:-4.8 (前月-3.8)



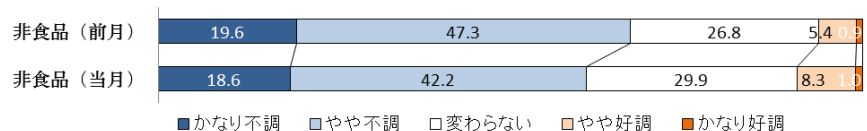
	好調コメント	不調コメント
日配	涼味関連(気温上昇)	乳飲料(ヨーグルト)、アイスクリーム(天候要因)

【一般食品】 不調 DI:-14.0 (前月-14.9)



	好調コメント	不調コメント
一般食品	酒類、菓子、買いだめからの回復	米相場安、夏物商材(天候要因)、価格競争

【非食品】 不調 DI:-17.3 (前月-19.9)



	好調コメント	不調コメント
非食品	買いだめからの回復	買いだめの影響、価格競争、たばこ

() は少数コメント

DIによる好不調判断

かなり好調:20 以上 好調:10~20 やや好調:0~10
 かなり不調:-20 以下 不調:-20~-10 やや不調:-10~0

2014年6月キーワード TOP 3

1. 土用丑の日
2. 畜産相場高、青果相場安
3. 天候要因

スーパーマーケット景気動向調査

7月速報版集計 213社
 6月確報版集計 235社